

# 令和5年度 鹿児島市 CKD 予防ネットワーク報告書

## 目次

1. ネットワークの稼働状況(p2～)
  - ①CKD予防ネットワーク概要図
  - ②新規透析患者数
  - ③CKD登録医・腎臓診療医
  - ④CKD登録薬剤師
  - ⑤令和5年度 CKD登録医・未登録医受診者数の報告(様式0)
  - ⑥令和5年度 腎臓診療医受診者数の報告(様式3)
  - ⑦保険者別CKD抽出者数の経年的推移
2. 協力団体の取組み(p10～)
  - ①国民健康保険課
  - ②協会けんぽ
  - ③長寿支援課・長寿あんしん課
  - ④鹿児島県看護協会
  - ⑤鹿児島県栄養士会
  - ⑥鹿児島糖尿病療養指導士会
  - ⑦鹿児島市薬剤師会
3. 鹿児島大学の取組み(p18)
4. 健診機関からのご報告(p19～)
  - ①ヘルスサポートセンター
  - ②県民総合保健センター
  - ③鹿児島厚生連病院 健康管理センター
5. 鹿児島市保健政策課(事務局)の取組み(p24～)



成人の8人に1人が **CKD** 慢性腎臓病 です。



平成 26 (2014) 年 4 月より、鹿児島市 CKD 予防ネットワークが開始され、CKD 登録医と腎臓診療医による病診 (診診) 連携や CKD 登録薬剤師制度などの基本的な枠組みが構築され 10 年が経過したと言えるかと思えます。新たな 10 年に向けて、このネットワークのそれぞれの団体が、よりその活動を高めることが期待されます。例えば、対象者の登録に基づくネットワークの評価が社会から求められる段階になっているとも言えます。これからの取り組みを考えるうえでも、まずは、令和 5 年度のネットワーク報告書を作成いたしましたので、CKD 登録医・腎臓診療医、CKD 登録薬剤師の先生方、並びに各保険者、関係機関の皆様方にお届けいたします。今後も本ネットワークが円滑に運用できるよう、よろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(令和 6 年 8 月 ネットワーク会議委員長 堀内 正久)

図1



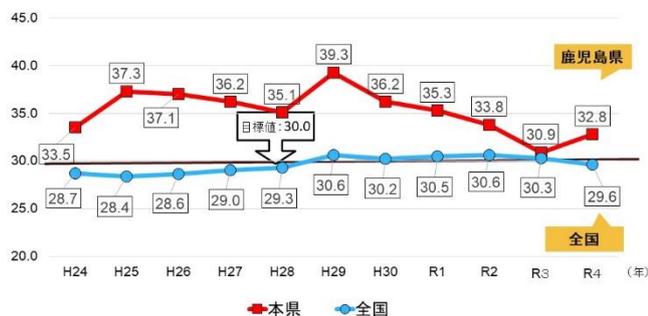
鹿児島県の「人口 10 万人当たりの新規透析導入患者数」は、平成 29 年以降減少していたが、令和 4 年は 32.8 と増加し、全国値を上回っています。また、新規透析導入患者数のうち約 4 割が糖尿病性腎症を原疾患としています。関係職種の皆様におかれましては、本市の CKD 予防ネットワークに理解を深めていただきネットワークが円滑に運用されることで、CKD の重症化予防につながっていくと考えています。さらに、早期対応においては、原疾患である糖尿病、高血圧等の生活習慣病の対応や発症予防、健診受診(二次健診含)も大切です。

今後ともご理解、ご協力のほどお願いいたします。

(CKD 予防ネットワークプロジェクト会議事務局)

図2

本県・全国の新規人工透析患者数の推移 (人口10万対)

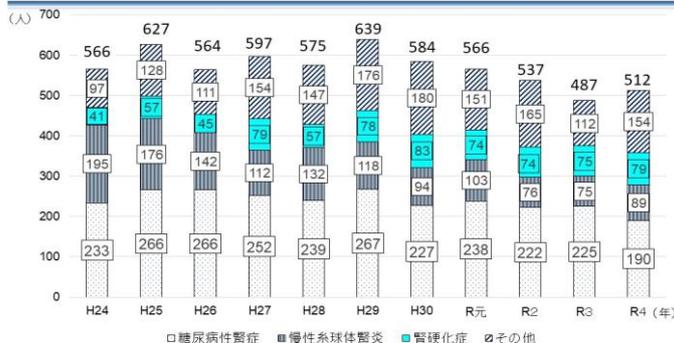


●健康かごしま21の数値目標でもある、本県の「人口10万人当たりの新規人工透析患者数」は平成29年以降減少していたが、令和4年は32.8と増加した。

【出典：わが国の慢性透析療法の実況(日本透析医学会)から引用、改変】

図3

本県の原疾患別の新規透析導入患者数の推移

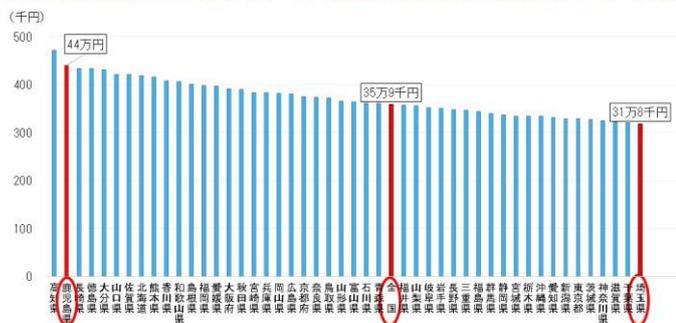


●本県の令和4年の新規透析導入患者数は、512人で、前年より25人増加  
●新規透析導入患者のうち、約4割が糖尿病性腎症を原疾患としている。  
●糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症の3つで全体の約7割を占める。

【出典：わが国の慢性透析療法の実況(日本透析医学会)から引用、改変】

図4

都道府県別にみた人口1人当たり国民医療費(R3年度)

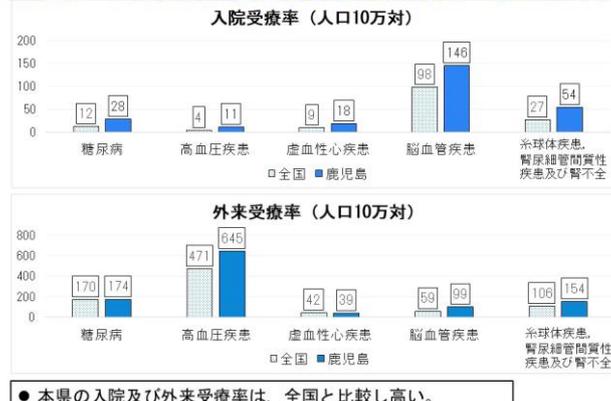


●本県の令和3年度の「人口1人当たりの国民医療費」は、44万円であり、全国(35万9千円)の約1.2倍である。全国2位となっている。

【出典：令和3年度国民医療費の概況】

図5

全国、本県の生活習慣病の受療率 (R2年)



●本県の入院及び外来受療率は、全国と比較が高い。

【出典：患者調査】

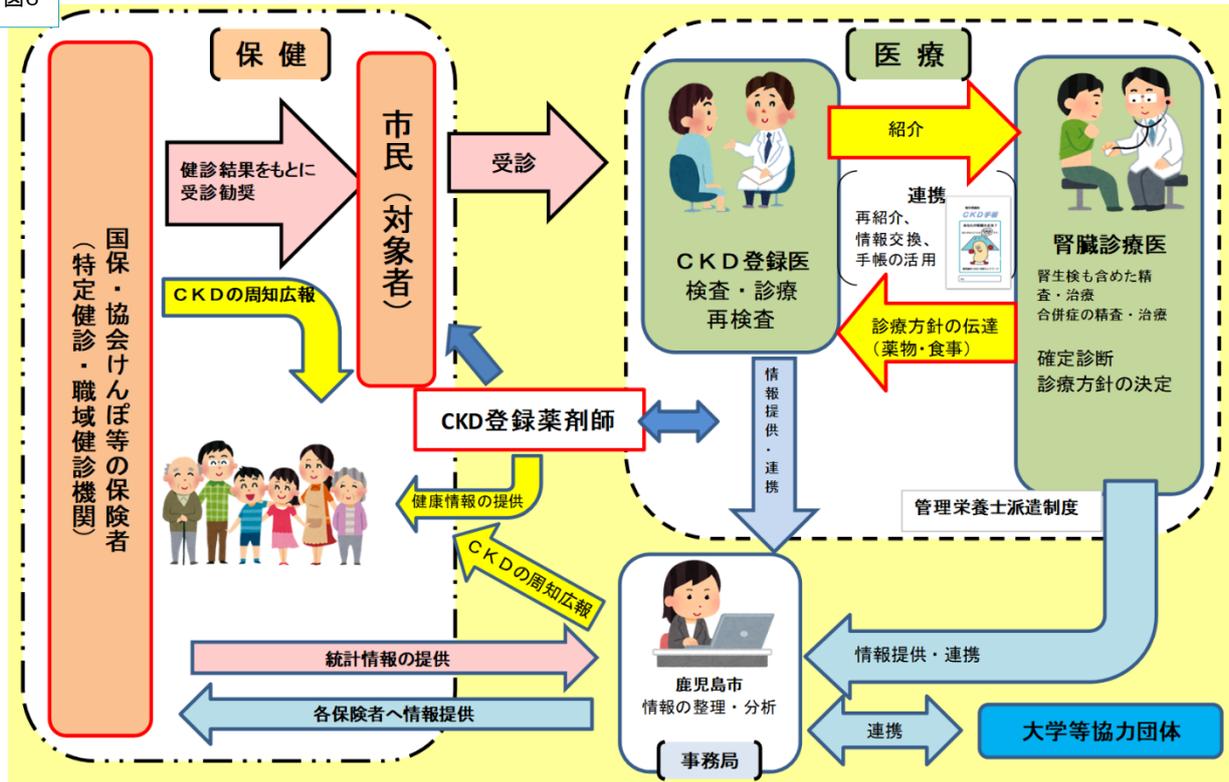
図 2-5:鹿児島県健康増進課資料

# 1. ネットワークの稼働状況

## ① CKD 予防ネットワーク概要図

CKD 予防ネットワークは、糖尿病や高血圧などにより発症する CKD の重症化を予防するため、CKD 登録医と腎臓診療医が連携して診断・治療方針に関する情報提供を行う医療ネットワークです。

図6



病診(診診)連携の運用により、初期の患者を見落とさず、適切な医療に導くことで、CKDの重症化を予防するとともに、人工透析の新規患者や心血管疾患の減少及び医療費の抑制を図ることを目的としています。

CKD 登録医・・・「CKD登録医」は、患者に対して必要な検査を行い、腎機能が「紹介基準」に該当する患者を「紹介シート」により「腎臓診療医」に紹介する。

腎臓診療医・・・「腎臓診療医」は、「CKD登録医」等から紹介のあった患者に対して、必要な検査や腎機能の評価等を行い、今後の治療方針等を「返信シート」等により「CKD登録医」へ返信する。

CKD 登録薬剤師・・・基本的に「服薬者≒CKD高リスク者」という事実を認識し、CKDステージ判定に基づく腎障害予防に努める。

(CKD病診薬連携・健診へのかかわり・関係機関との連携)

② 新規透析患者数

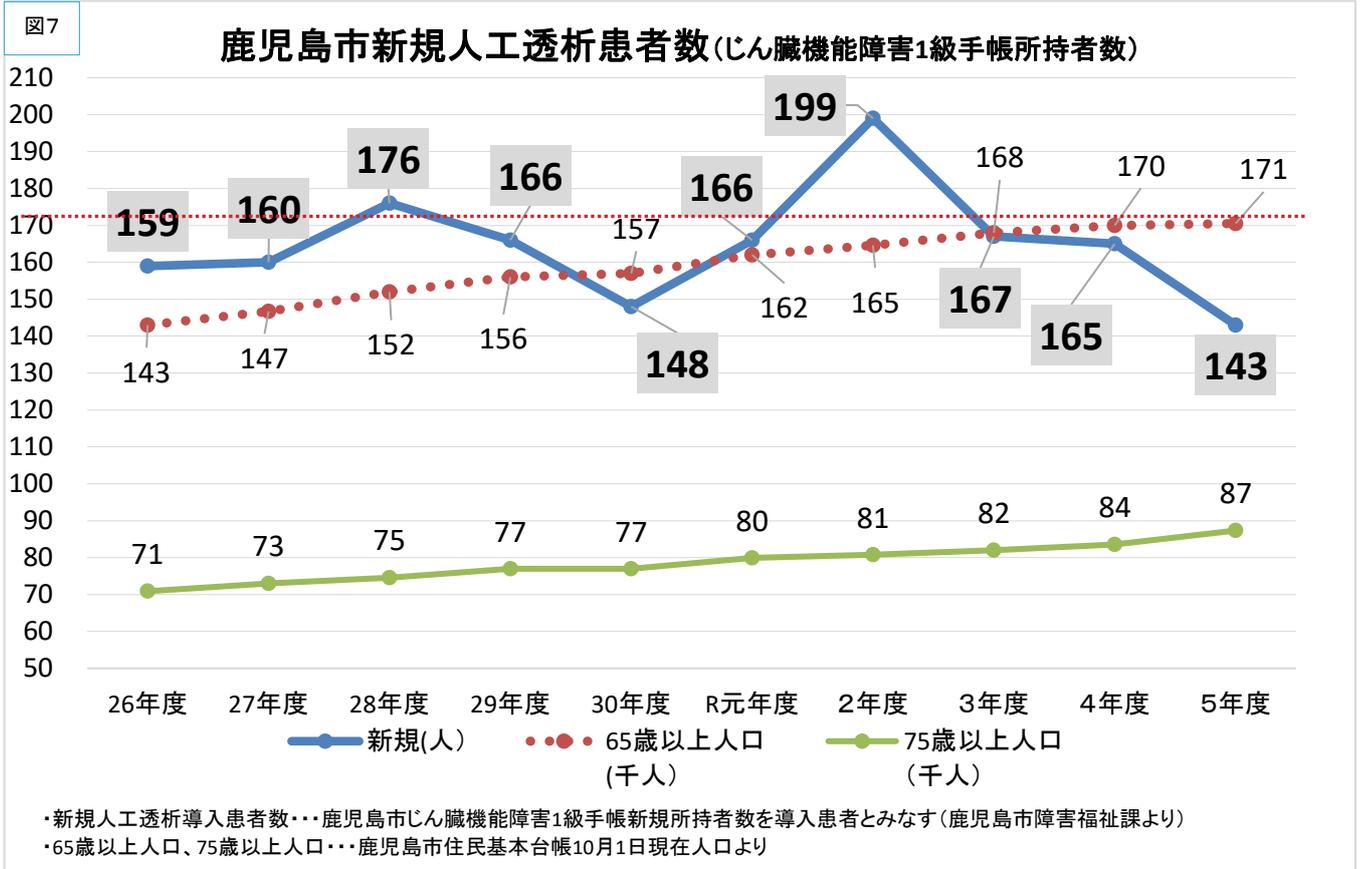


表1

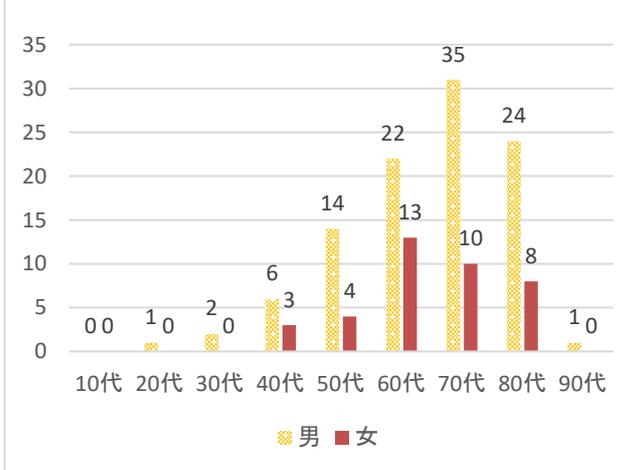
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
新規(人)	159	160	176	166	148	166	199	167	165	143
65歳以上人口(千人)	143	147	152	156	157	162	165	168	170	171
75歳以上人口(千人)	71	73	75	77	77	80	81	82	84	87

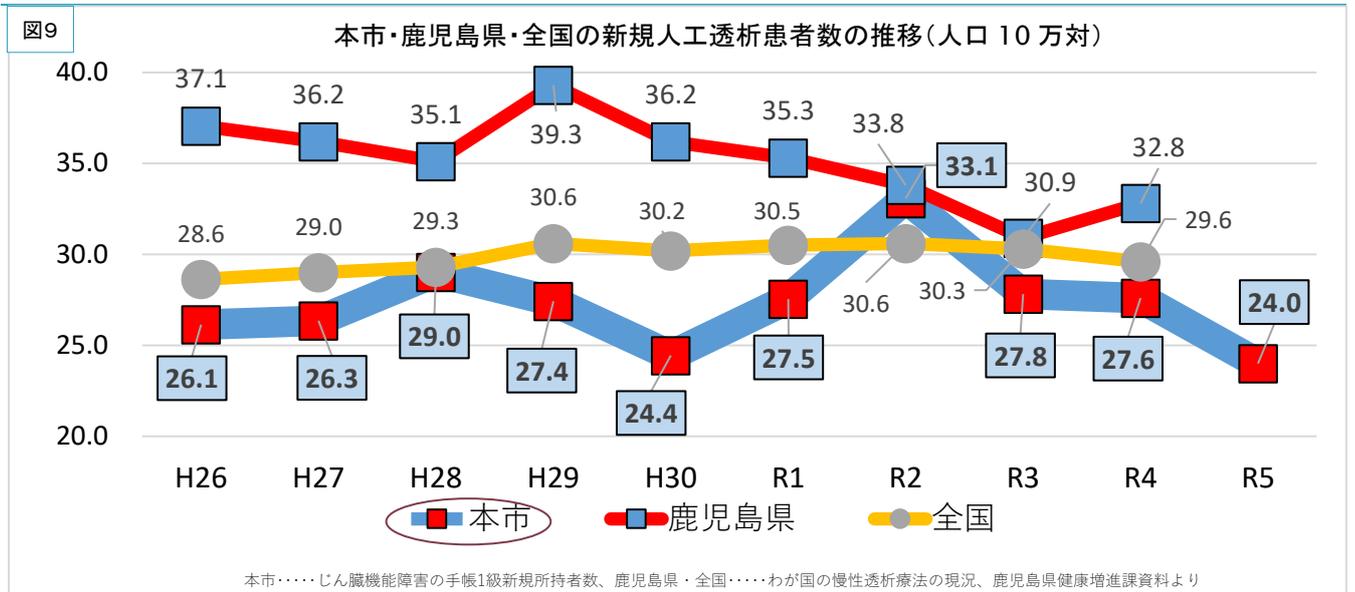
表2 新規人工透析患者数年代内訳 (じん臓機能障害の手帳1級所持者数) (人)

年代	R5年度			R4年度			R3	R2
	男	女	計	男	女	計		
10代	0	0	0	0	1	1	1	0
20代	1	0	1	0	0	0	1	2
30代	2	0	2	2	0	2	4	2
40代	6	3	9	8	0	8	7	11
50代	14	4	18	16	11	27	22	21
60-64	4	8	12	9	4	13	21	26
65-69	18	5	23	15	5	20	26	21
70-74	17	6	23	16	8	24	20	42
75-79	18	4	22	15	10	25	27	27
80代	24	8	32	24	14	38	35	40
90代	1	0	1	5	2	7	3	7
合計	105	38	143	110	55	165	167	199
平均年齢(歳)	69.51	68.53	平均年齢(歳)	69.2	71.07	平均年齢(歳)	69.83	
	69.25							
※国透析患者情報	-	-	国透析患者情報	70.76	72.92		71.42	

※わが国の慢性透析療法の現況(2022年12月31日現在)

図8 令和5年度 新規人工透析患者数 年代内訳(人) 男女





新規透析者数(図7)は、高齢者数は増加の一方、令和5年度は、143人で前年度と比較し減少しました。年代性別内訳からは、70歳代・80歳代、60歳代の順で男性が多く、65歳以上の高齢者が70.6%を占めます。令和4年度透析開始の平均年齢は、69.25歳でした。平均年齢は下がっており、令和4年度と比較し、65歳～69歳での新規透析者数が増加しており、早い時期からの生活習慣病予防、重症化予防が今後も重要と分かります。

### ③ CKD 登録医・腎臓診療医 (R6.3 月末)

表3 CKD 登録医 324 人

診療科	内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	放射線	産婦人科	精神科
223 医療機関	191	9	8	6	3	2	3	1

(※特定健診実施医療機関 311 力所 (R5 年度))

(令和4年度 220 医療機関 317 人)

表4 腎臓診療医 34 人・21 医療機関

腎臓専門医(人)	透析専門医(人)	腎臓専門医+透析専門医(人)
3	13	18

(令和4年度 21 医療機関 34 人)

### ④ CKD登録薬剤師(R6.3 末) R2 年度から実施

・CKD登録薬剤師数 146人(69薬局) ※ 市内薬局数357薬局(R6.1現在)  
(令和4年度 65 薬局 133 人)

・役割:基本的に「服薬者≒CKD高リスク者」という事実を認識し、CKDステージ判定に基づく腎障害予防に努める。

●CKD病診薬連携

専門性(チーム医療):医師への受診勧奨、薬剤性腎障害の未然防止、被疑薬同定、かかりつけ薬局として地域とのかかわり

●健診へのかかわり

健診データの活用(CKDステージ判定)、健診受診率を高めるための活動(未受診者への啓発、健診情報の提供)、健診後指導(健診結果に対する相談、健康教室、禁煙指導)

●関係機関との連携

⑤ 令和5年度 受診者数の報告(様式0:登録医→事務局)

図10

様式0 報告件数 年次推移

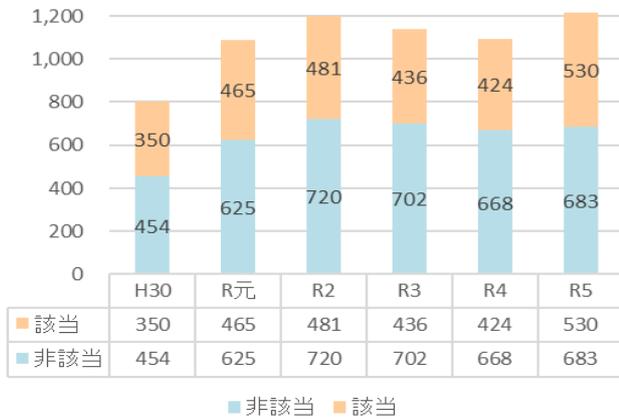
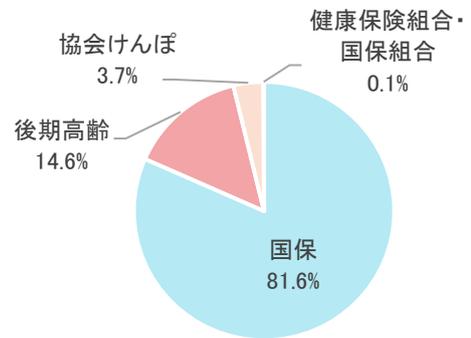


図11

R5 様式0 保険者別受診報告割合



(鹿児島市国保では H30 年 10 月から、かかりつけ医からの紹介基準を変更し(CKD 診療ガイドライン 2018 にて示されたことによる)、平成 30 年度以降は大幅に増加しています。)

表5 報告内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	総計
(件数・割合)	非該当				該当				
<b>登録医からの報告</b>									883
非該当・該当数	227	272	8	0	82	277	1	16	
報告全体数からの割合	44.8%	53.6%	1.6%	0%	21.8%	73.7%	0.3%	4.2%	
	507 57.4%				376 42.6%				
<b>未登録医からの報告</b>									330
非該当・該当数	53	116	5	2	22	122	2	8	
報告全体数からの割合	30.1%	65.9%	2.9%	1.1%	14.3%	79.2%	1.3%	5.2%	
	176 53.3%				154 46.7%				
<b>総計</b>	<b>280</b>	<b>388</b>	<b>13</b>	<b>2</b>	<b>104</b>	<b>399</b>	<b>3</b>	<b>24</b>	<b>1,213</b>
非該当・該当数・割合	683 56.3%				530 43.7%				
	41.0%	56.8%	1.9%	0.3%	19.6%	75.3%	0.6%	4.5%	

【非該当】 ①再検査で異常なし ⇒ 健診で経過観察

③自院以外の、患者のかかりつけ医で経過をみる。

【該当】 ⑤腎臓診療医( )病院( )先生へ紹介

⑦患者の意向により、他院(腎臓診療医以外)で経過をみる。

②自院で経過をみる。

④その他

⑥患者の意向により、自院で経過をみる。

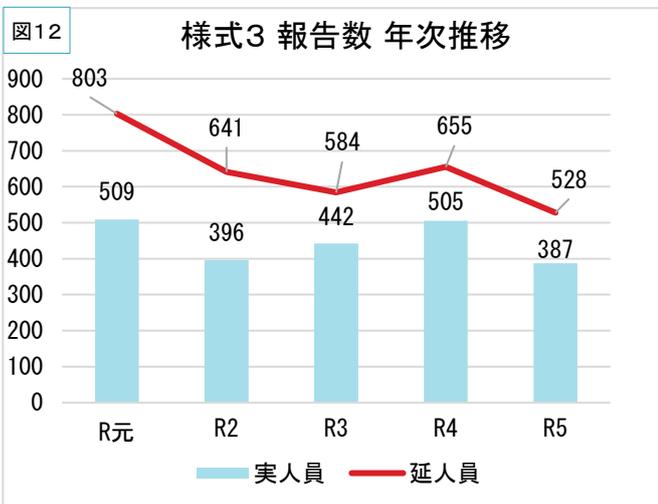
⑧その他

様式0の受診報告者数は、令和5年度は1,213件でした。

受診者の内訳をみると約81.6%が国保で、14.6%が後期高齢者医療でした。後期高齢者の割合は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業が令和3年度より開始したことにより、令和2年度1.7%でしたが、年々増加しております。再検査の結果、紹介基準に「該当」となる方は43.7%です。

紹介基準が該当した対象者の腎臓診療医への紹介率は19.6%で年々低下しています。専門医に紹介せずとも登録医での継続治療で良いと判断されたケースが増えているかもしれませんが、登録医(かかりつけ医)と腎臓診療医の連携や、患者さんの理解促進も今後必要ではないかと考えます。さまざまな職種(コメディカルスタッフ)がさまざまな場面でCKD予防の重要性について伝え、「CKD」は他職種が協働して患者を支援する連携疾患であることを認識して治療にあたっていただければ幸いです。また事務局として、未登録医に対して登録いただけるよう勧奨に努めます。

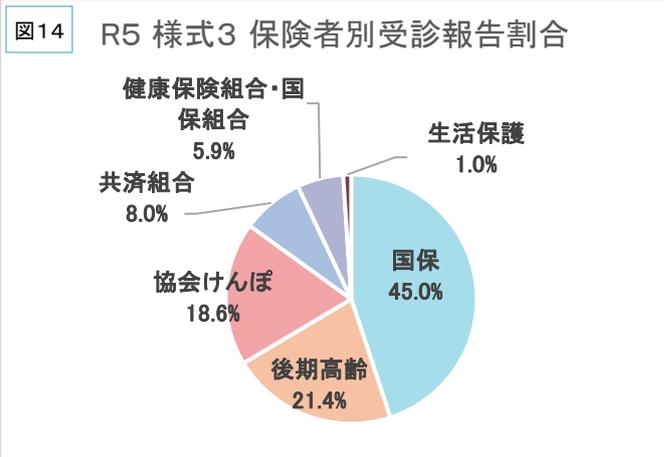
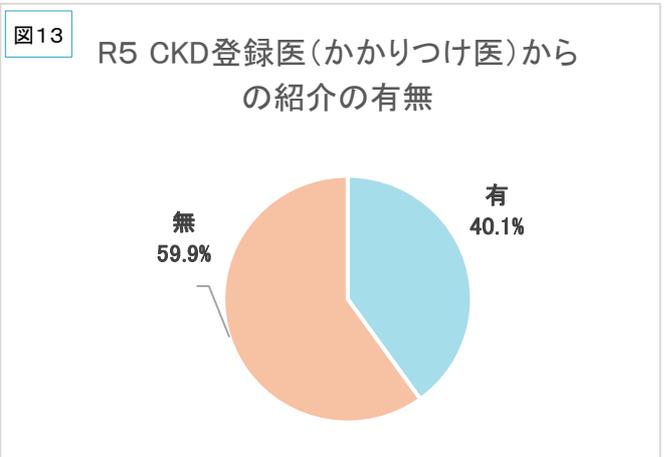
### ⑥ R5年度 受診者数の報告(様式3:腎臓診療医→事務局)



腎臓診療医からの様式3の報告者数は昨年度よりも低下し、実人数387人、延人数528人でした。紹介有無については、直接、専門医へ受診するケースが59.9%でした。

保険者別割合は、前年度と比較し、後期高齢者医療が25%から21.4%へ低下していました。

また、40歳未満の様式3の報告者は49人でした。



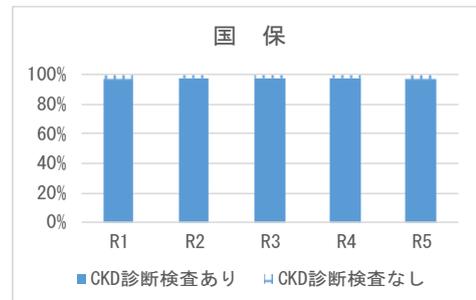
## ⑦ 保険者別 CKD 診断検査実施数の経年的推移

CKD 検査の有無について

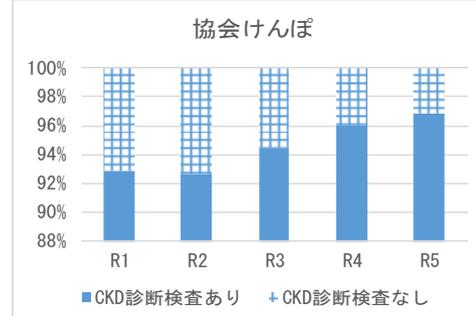
県民総合保健センター

\*「CKD診断検査あり」とは、尿蛋白検査に加えて eGFR の記載と、尿潜血検査の記載がある方になります  
巡回健診と施設健診との合計

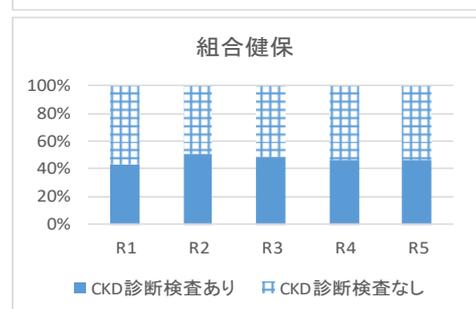
保険者	国保				
年度	R1	R2	R3	R4	R5
CKD診断検査あり	14,203	13,172	13,971	13,394	14,029
CKD診断検査なし	498	312	348	318	506
総数	14,701	13,484	14,319	13,712	14,535



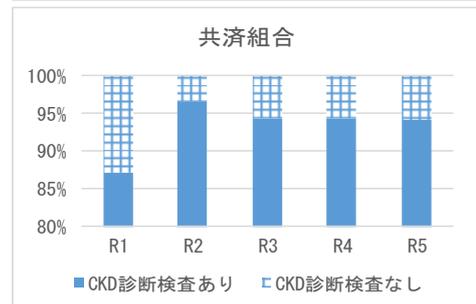
保険者	協会けんぽ				
年度	R1	R2	R3	R4	R5
CKD診断検査あり	9,049	9,085	8,700	9,378	9,403
CKD診断検査なし	690	723	515	392	303
総数	9,739	9,808	9,215	9,770	9,706



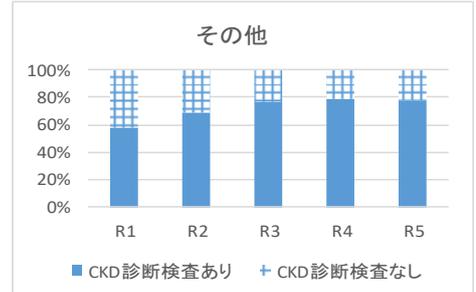
保険者	組合健保				
年度	R1	R2	R3	R4	R5
CKD診断検査あり	1,466	1,295	1,289	1,218	1,337
CKD診断検査なし	1,965	1,261	1,355	1,386	1,550
総数	3,431	2,556	2,644	2,604	2,887



保険者	共済組合				
年度	R1	R2	R3	R4	R5
CKD診断検査あり	11,866	2,259	2,053	1,932	2,042
CKD診断検査なし	1,760	82	125	116	127
総数	13,626	2,341	2,178	2,048	2,169



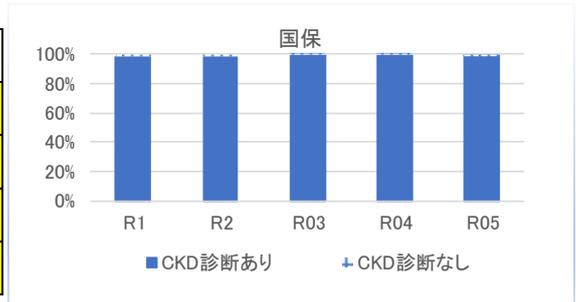
保険者	その他				
年度	R1	R2	R3	R4	R5
CKD診断検査あり	2,850	13,463	16,880	15,993	17,208
CKD診断検査なし	2,086	5,975	5,060	4,331	5,073
総数	4,936	19,438	21,940	20,324	22,281



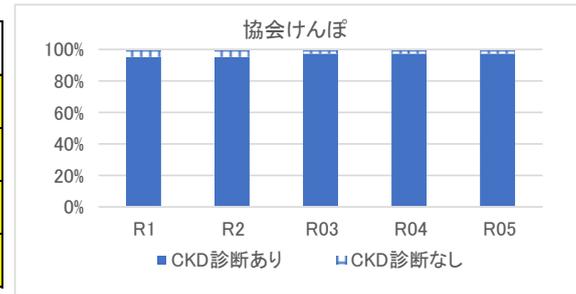
ヘルスサポートセンター

CKD 検査の有無について

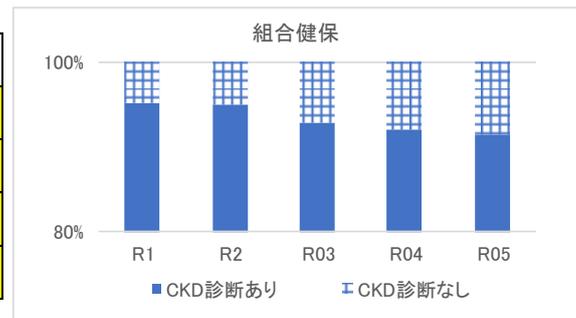
保険者	国保				
年度	R1	R2	R03	R04	R05
CKD診断あり	3,902	2,596	2,736	2,855	2,923
CKD診断なし	68	43	12	18	24
総数	3,970	2,639	2,748	2,873	2,947



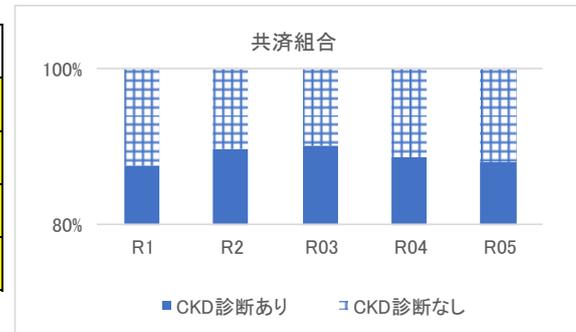
保険者	協会けんぽ				
年度	R1	R2	R03	R04	R05
CKD診断あり	68,907	71,114	57,406	61,643	60,389
CKD診断なし	3,047	3,506	1,388	1,289	1,337
総数	71,954	74,620	58,794	62,932	61,726



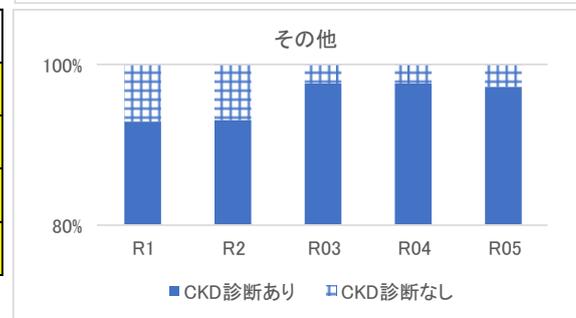
保険者	組合健保				
年度	R1	R2	R03	R04	R05
CKD診断あり	12,697	13,115	14,734	14,477	14,594
CKD診断なし	662	695	1,142	1,263	1,381
総数	13,359	13,810	15,876	15,740	15,975



保険者	共済組合				
年度	R1	R2	R03	R04	R05
CKD診断あり	1,063	1,389	1,220	1,275	1,330
CKD診断なし	152	159	132	165	182
総数	1,215	1,548	1,352	1,440	1,512



保険者	その他				
年度	R1	R2	R03	R04	R05
CKD診断あり	27,370	24,413	40,688	38,650	39,768
CKD診断なし	2,121	1,805	1,002	890	1,098
総数	29,491	26,218	41,690	39,540	40,866



健診機関においても、年々CDK 診断検査の保険者ごとの実施者割合はほとんどが90%を超え、CKD の早期介入にはつながっていると予想されますが、各保険者の被保険者である働く世代の方々、その扶養者の方々へ CKD 診断の必要性の周知とともに、各機関が連携し、健診受診率の向上にも努めることが大事になってきます。

参考：

### 健診における血中 Cr・尿潜血の測定

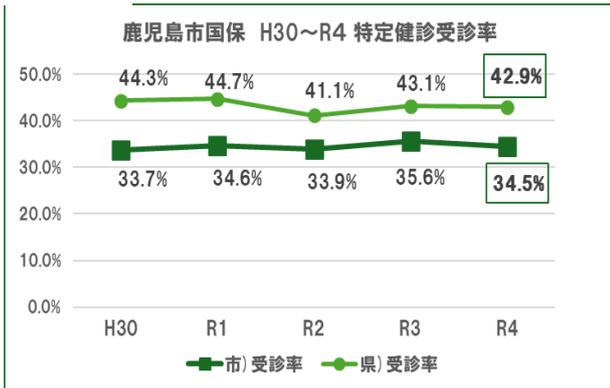
	国保	協会けんぽ		
	特定健診	生活習慣病 予防健診	事業主健診	特定健診
血中 Cr	×	○	×	×
尿潜血	×	○	×	×
平成 21 年～				
血中 Cr	○	○	×	×
平成 26 年 4 月～				
血中 Cr	○	○	×	×
尿潜血	○	○	×	×
平成 28 年 4 月～				
血中 Cr	○	○	▲	▲
尿潜血	○	○	▲	▲

## 2. 協力団体の取組み

### ① 国民健康保険課

鹿児島市国保における令和4年度の特定健診受診率は34.5%です。国の目標値は60%ですが図1の通り、県のR4受診率42.9%にも及ばず、生活習慣病の早期発見・早期治療のために受診率向上の取組を重点的に行っています。鹿児島市国保の特定健診は、基本項目に加え、血清クレアチニンや尿潜血も無料で受診することができますので、特定健診受診をお勧めいただき、CKDの早期発見につなげていただくと幸いです。

【図1】



特定健診の結果、腎臓専門医紹介基準に該当した場合、保健師、管理栄養士等による受診勧奨、保健指導を行っております。その際主治医の先生方へ、健診結果のご相談を勧めておりますので、必要な検査や腎臓診療医への紹介等ご検討をお願いいたします。

R4特定健診における腎臓専門医紹介基準該当者については、表1でご確認ください。

【表1】 R4腎臓専門医紹介基準該当者数

原疾患	糖尿病		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
	高血圧・腎炎など	正常	正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
GFR区分 (ml/分/1.73m <sup>2</sup> )	尿蛋白区分		A1	A2	A3
	尿検査・GFR 共に実施		(-)	(±)	(+)以上
			26,217人	22,365人 85.3%	2,369人 9.0%
				429人 18.1%	1,483人 5.7%
G1	正常 または高値	90以上	2,006人 7.7%	1,704人 6.5%	202人 0.8%
G2	正常または 軽度低下	60-90 未満	17,716人 67.6%	15,474人 59.0%	1,534人 5.9%
G3a	軽度～ 中等度低下	45-60 未満	5,693人 21.7%	4,740人 18.1%	546人 2.1%
G3b	中等度～ 高度低下	30-45 未満	674人 2.6%	424人 1.6%	69人 0.3%
G4	高度低下	15-30 未満	96人 0.4%	21人 0.1%	16人 0.1%
G5	末期腎不全 (ESKD)	15未満	32人 0.1%	2人 0.0%	2人 0.0%

R4受診者26,217人のうち、紹介基準に該当した者は、2,868人(全体の11.4%)でした。そのうち尿蛋白陽性者は1,483人であり、優先的に介入する必要があります。

表2は年代別、治療の有無別にみたものです。40～50代の若い世代の9.3%が紹介基準に該当しています。60代以上と比べると、治療なしの者の割合が多い(約2倍)状況です。

【表2】 年代別・治療の有無別(尿蛋白・GFR未実施者も含む)

	総数	40代	50代	60代	70-74歳
		専門医受診者受診対象者	2,977人	80人 2.7%	197人 6.6%
治療なし	788人	55人 7.0%	89人 11.3%	252人 32.0%	392人 49.7%
治療中	2,189人	25人 1.1%	108人 4.9%	666人 30.4%	1,390人 63.5%

表3は特定健診結果からCKD予防ネットワーク腎臓診療医紹介基準に該当した件数とそのうち受診勧奨を行った件数、また受診勧奨後様式3と様式0の受理件数を示したものです。CKD予防ネットワーク開始時から比較すると、増加しています。ご報告いただきました内容は、今後の保健指導や医療費分析等に活用させていただきます。

【表3】 特定健診からのCKD受診勧奨対象者数について（国保）

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
特定健診 (法定報告)	対象者数	89,725	88,253	86,035	84,217	82,464	81,179	82,068	80,688	77,286
	受診者数	27,774	27,638	26,531	22,414	27,812	28,115	27,805	28,690	26,626
	受診率	31.0%	31.3%	30.8%	26.6%	33.7%	34.6%	33.9%	35.6%	34.5%
CKD予防 ネット ワーク	紹介基準該当者数	1,420	1,534	1,555	1,210	3,016	3,554	3,389	3,020	2,846
	受診勧奨件数	1,268	1,298	1,338	1,106	2,728	3,177	2,480	2,451	2,193
	様式3 受理件数 実(延)	170(218)	295(440)	201(339)	162(260)	278(401)	329(506)	233(356)	202(256)	218(273)
	様式0 受理件数 延		98	238	300	691	708	1,070	863	882

●人工透析患者数について

表4より、人工透析患者数は近年横ばいに見えますが、被保険者数100万対で見ると増加しているのが分かります。同規模保険者も増加していますが、H26年度からの伸び率は同規模保険者17.4%に対し、本市は30.3%となっています。

【表4】 人工透析患者数と人口比率

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	H26-R4 伸び率
鹿児島市 国保	患者数	624	660	673	673	672	678	684	696	659	
	被保険者数 100万対	4,435	4,823	5,108	5,279	5,432	5,621	5,708	5,918	5,778	30.3%
(参考) 同規模 保険者	被保険者数 100万対	3,017	3,102	3,223	3,243	3,347	3,429	3,500	3,544	3,543	17.4%

KDBシステムより  
※同規模保険者とは同規模程度の被保険者数をもつ保険者平均をさす

●糖尿病性腎症重症化予防について

新規人工透析導入患者の原疾患となる糖尿病性腎症の重症化を予防し、新規人工透析導入患者の減少を目的とした糖尿病性腎症重症化予防対策の取組を推進するため、「鹿児島市糖尿病性腎症重症化予防対策推進協議会」を設置しています。協議会で取組内容を検討し、R4年から重症化予防のための病診連携体制を構築し、特定健診の結果から、基幹病院（糖尿病専門医と腎臓専門医）あるいは糖尿病専門医への受診を促す基準を設けています。またR5年秋からはかかりつけ医と連携した保健指導を開始しており、鹿児島市版糖尿病連携手帳（プログラムノート）を介して、医療機関、関係機関との情報共有をはかり、患者の適切な自己管理をサポートする取組（保健指導）を行っています。

②協会けんぽ

令和4年度鹿児島市35歳以上の被保険者数及び生活習慣病予防健診受診者

令和3年度と比べ健診受診率は3.7%減少している。

	令和3年度	令和4年度
加入者数(35歳以上の被保険者数)	96,972	103,057
健診受診者数(生活習慣病予防健診)	58,552	58,351
健診受診率	60.3%	56.6%

2. CKD 重症化予防事業

令和4年度健診受診者への受診勧奨を、令和4年10月から令和5年9月の間実施した。

令和4年度健診受診者58,552名のうち受診勧奨対象者は、2018年ガイドライン基準で2,497名(該当率4.3%)、昨年度と比較し、0.2%増加となっている。

受診勧奨対象者のうち、リスクの高い762名へ通知文書による受診勧奨を実施した。

(1) CKD 受診勧奨該当者及び受診勧奨実施状況

	令和3年度	令和4年度
CKD 受診勧奨該当者数(2018 ガイドライン基準)	2,369	2,497
CKD 受診勧奨該当率	4.1%	4.3%
受診勧奨通知発送数	792	762

<協会けんぽ鹿児島支部受診勧奨通知基準>

- ・尿蛋白(2+以上)
- ・尿蛋白(1+以上)かつeGFR 60mL/分/1.73 m<sup>2</sup>未満
- ・40歳未満 eGFR 60mL/分/1.73 m<sup>2</sup>未満
- ・40歳以上 eGFR 45mL/分/1.73 m<sup>2</sup>未満

(2) 受診勧奨対象者の年齢階級別内訳(表3)2018年度ガイドライン基準

30代~50代の該当率が増加している傾向がある。

	総数	35~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~74 歳
健診受診者数	58,351	7,940	19,739	16,560	12,037	2,258
受診勧奨対象者数	2,497	241	659	668	708	221
該当率	4.3%	3.0%	3.4%	4.0%	5.9%	9.8%
(参考) 令和3年度該当率	4.0%	2.7%	3.3%	3.7%	5.7%	9.2%

3. 未治療者受診勧奨事業(参考)

被保険者における健診受診者のうち、血圧・血糖・脂質に関する検査値が、下記の基準を1つ以上満たす未受診者、文書及び電話による受診勧奨業務を実施している。(協会けんぽ全体としての取り組み)

収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c	LDL コレステロール
160mmHg以上	100mmHg以上	126mg/dl以上	6.5%以上	180mg/dl 以上

令和4年度健診受診者への文書勧奨後3ヶ月以内の受診率は、11.2%であり、全国4位(全国平均8.34%)となっている。

## ③長寿支援課・長寿あんしん課

令和5年度の長寿健診受診者のうち、80歳以下で尿蛋白2+、またはe-GFR45未満の未治療者に対し、健診結果の経年表、e-GFRの経年グラフ、主治医宛て紹介状の作成を行い、医療専門職による訪問指導を実施した。

75歳以上の後期高齢者に対し、健診結果が見える化した保健指導、および紹介状作成による受診勧奨を行い、「様式0」の返却数が176件(R6年3月末時点)になり、(前年同月163件より増加)CKDネットワークを活用した後期高齢者の受療促進につながった。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数	77,807人	79,311人	85,481人
健診受診者数	12,827人	13,281人	14,948人
対被保険者数健診受診率	16.49%	16.75%	17.49%

※令和5年度 令和6年3月31日時点受診分

(重複含)	原則80歳以下(未治療)	訪問指導実施者
尿蛋白2+以上 または e-GFR45未満	280人	354人 (R4継続支援者含)

(令和6年3月末時点)

## ④鹿児島県看護協会

具体的な取組	【令和5年度実施状況】	【令和6年度実施計画】
まちの保健室 (山形屋看護展)	<p>【日時】令和5年9月3日(日)</p> <p>【場所】山形屋</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血管年齢測定 ・血圧測定</li> <li>・看護相談</li> <li>・お薬相談(薬剤師会)</li> <li>・栄養相談(栄養士会)</li> </ul> <p>【実施結果】</p> <p>血圧測定 134名 看護相談 33名 血管年齢測定 150名 栄養相談 120名、お薬相談 5名</p>	<p>【日時】令和6年9月1日(日)予定</p> <p>【場所】山形屋</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血管年齢測定 ・血圧測定</li> <li>・看護相談</li> <li>・お薬相談</li> <li>・栄養相談</li> </ul>
市民健康まつりへの参加	<p>【日時】令和5年7月16日(日)</p> <p>【場所】西原商会アリーナ</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧測定 ・血管年齢測定</li> <li>・健康相談 ・子供向け看護師体験</li> </ul> <p>【実施結果】</p> <p>血管年齢測定 563名 血圧測定 395名、 看護相談 23名 子供向け看護師体験 35名 (延べ1,016名参加)</p>	<p>【日時】令和6年10月26日(土)</p> <p>【場所】宝山ホール</p> <p>【内容】講演 講師未定</p>
CKD 啓発イベント「世界腎臓病デーin かがしま」への参加	<p>【日時】令和6年3月16日</p> <p>【場所】鹿児島市中央公民館ホール</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧測定 ・サーチュレーション測定</li> <li>・体重・BMI測定</li> </ul> <p>【実施結果】</p> <p>血圧測定・健康相談 32名 体重・BMI測定 37名 サーチュレーション測定 50名</p>	<p>【日時】令和7年3月頃</p> <p>【場所】未定</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧測定 ・パネル展示</li> <li>・健康相談 ・体重・BMI測定</li> <li>・サーチュレーション測定</li> </ul>
【そのほか取り組み】	なし	予定なし

⑤鹿児島県栄養士会

具体的な取組	【令和5年度実施状況】	【令和6年度実施計画】
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デーin かがしま」 への参加	【日時】令和6年3月16日 【場所】中央公民館 【内容】予防講演会「腎臓と食事について 考えてみよう」 栄養相談・展示ブース	【日時】未定 【場所】未定 【内容】未定
管理栄養士派遣制度	【利用施設】 2 施設 【指導件数】 28 件 【指導内容】糖尿病・高血圧症 ・CKD・脂質異常症等	派遣制度利用促進 栄養ケアステーション機能 (人材紹介等)の促進
研修会	会員資質向上対策リレー研修会 【日時】令和5年11月11日 【場所】栄養会館+リモート 【内容】改めて糖尿病を学ぶ  糖尿病重症化予防事業 (栄養部会主催) 糖尿病重症化予防指導者登録のための 研修会 【日時】令和6年2月4日 【場所】国際交流センター 【内容】講演・症例検討	会員資質向上対策リレー研修会 【日時】未定 【場所】未定 【内容】未定  糖尿病重症化予防事業 症例検討研修会 【日時・場所】未定 【内容】未定
市民健康まつりへの協力、参加	【日時】令和5年7月16日(日) 10時～15時30分 【場所】西原商会アリーナ 【内容】身長・体重測定 栄養相談	【日時】令和6年10月26日(土) 【場所】宝山ホール 【内容】記念講演会

⑥鹿児島糖尿病療養士会

具体的な取組	【令和5年度実施状況】	【令和6年度実施計画】
世界糖尿病デー・イベントの開催	開催なし	状況をみながら判断(未定) 実施の場合;第6回「世界糖尿病デー・イベント」を開催し、糖尿病の予防啓発を行う。 ・糖尿病に関する情報提供(パネル、チラシ) ・療養相談
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デーin かごしま」への参加	令和6年3月16日(土) パネル展示 (スタッフ 5名参加)	【日時・場所】詳細未定 【内容】パネル展示など
研修会の開催	糖尿病重症化予防従事者連携スキルアップ研修会(4地区開催)  ①12/20 曾於地区(5名参加) ②1/24 出水地区(11名参加) ③1/31 鹿児島地区(19名参加) ④2/14 徳之島地区(10名参加) ※④のみ Web 開催 [内容] 1) 講義 ・栄養指導(飲酒、高齢者対応含む) ・運動療法(高齢者対応含む) ・薬物療法 2) 症例検討、グループワーク ・事例「治療中断」 3) ステイグマについて  *糖尿病重症化予防連携強化研修会への協力 ・講義 ・事例検討、グループワーク	* コメディカルのための糖尿病セミナー(予定)  【日時・場所・内容】検討中  * 糖尿病重症化予防連携強化研修会への協力 ・講義 ・事例検討

⑦鹿児島市薬剤師会

具体的な取組	【令和5年度実施状況】	【令和6年度実施計画】
CKD 啓発イベント 「世界腎臓デー in かごしま」への参加	・中央公民館での啓発活動 講話、パネル展示、お薬相談コーナー	【日時・場所】未定 【内容】 ・パネル展示 ・お薬相談コーナー”
CKD 学術講演会の開催	【日時・場所】 ・令和6年3月4日 19:30～21:00 (WEB) 【内容】 ・薬剤師対象にCKDに関する研修会 ・CKD登録薬剤師制度登録への働きかけ”	【日時・場所】 ・令和6年12月予定・場所未定 【内容】 ・薬剤師対象にCKDに関する研修会(年1回) ・CKD登録薬剤師制度登録への働きかけ”
お達者クラブでの 「薬の健康教室」にてCKD啓発活動	【日時】令和5年7月～令和6年3月 【場所】市内全域の公民館等 【内容】 ・薬の正しい使い方、ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、お薬手帳、薬の副作用等について講話を行う健康教室の一部でCKD啓発を実施した。 ”	【日時】令和6年7月～令和7年3月 【場所】市内全域の公民館等 【内容】 ・薬の正しい使い方、ジェネリック医薬品、かかりつけ薬局、お薬手帳、薬の副作用等について講話を行う健康教室の一部でCKD啓発を実施する。 ”
CKD シールの配布	・CKDシールの使用方法について、会員へ継続して啓発を行った。 ・慢性腎臓病(CKD)患者のお薬手帳に貼っていただくCKDシールを、希望があった病院・保険薬局会員へ配布した。”	【内容】 ・慢性腎臓病(CKD)患者のお薬手帳に貼っていただくCKDシールを改訂し、会員へ継続して啓発していく。
CKD 小委員会活動	・会員に向けてCKDニュースをLINEで配信。会員へCKD啓発活動を行った。	・引き続き、会員に向けてCKDニュースをLINEで配信。会員へCKD啓発活動を行う。
CKD 登録薬剤師制度	・鹿児島市によるCKD登録薬剤師制度の説明会への協力を行った。 ・登録薬剤師を増やすためLINEなどを通じて呼びかけを行った。 ・健診後のフォローについてポケットティッシュ台紙を作成し、ポケットティッシュを健診機関で配布していただき、CKD登録薬剤師の啓発を行った。	”・鹿児島市によるCKD登録薬剤師制度の説明会等への協力を行う。 ・引き続き、CKD登録薬剤師制度をいかしていけるよう市民に向けて啓発を行い、登録薬剤師を増やす取り組みを行う。 ・CKDトレーシングレポートを広報、活用を推進していく。”
CKD 予防ネットワーク研修会	・鹿児島市CKD予防ネットワークWeb研修会(2/15)について、当会ホームページへの掲載を行い、薬剤師研修センター単位を取得できるように手配し、会員へ案内を行った。	CKD予防ネットワーク(地区別)研修会について、継続して薬剤師研修センター単位を取得できるように手配し、当会会員への案内及び当会ホームページへの掲載を行う。

### 3. 鹿児島大学の取組み

#### CKD 予防ネットワーク 令和 5 年度 事業報告書

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 衛生学・健康増進医学 堀内 正久

#### 鹿児島大学衛生学・健康増進医学の取組(2023 年度)

##### CKD 登録薬剤師活動についての検討

CKD 登録薬剤師活動は、体制づくりを進めている。2023 年時の鹿児島大学衛生学・健康増進医学分野としての活動として、具体的な活動内容について検討し、市薬剤師会 CKD 小委員会や鹿児島市 CKD 予防ネットワークへの提言を行い、本活動がより適切なものとなることを目指した。

本活動は、3つの視点で整理できると考える。(鹿児島市 HP から一部改変)

1. 医療分野への貢献
  - ・薬剤性腎障害の未然防止、被疑薬同定
2. 保健分野への貢献
  - ・かかりつけ薬局として地域とのかかわり保健分野への貢献
  - ・健診データの活用(CKD ステージ判定)
  - ・健診受診率を高めるための活動(未受診者への啓発、健診情報の提供)
  - ・健診後指導(健診結果に対する相談、健康教室、禁煙指導)
3. 保健分野と医療分野のつながりに貢献
  - ・専門性(チーム医療): 医師への受診勧奨

従来の「1」の働きに加えて、保健分野における貢献として、健診未受診者の抽出、健診受診者の CKD 検査結果を用いて、CKD ステージ判定や健診後指導などがなされ、医療機関への受診勧奨につながることを期待される。

2つの課題を考案し、委員会への提言を試みた。

1. 活動におけるインセンティブを高める参加型の健診支援の実施
 

健診結果の説明に加えて、尿検査(尿たんぱく、尿潜血)の定量検査の実施。健診において、要再検査者に対して、検査機関と連携した参加型の検査支援を実施することで、本取り組みに対する取り組み意識を高めることができることが期待される。
2. 情報の取得法の確立
 

保険薬局の活動を評価可能な数値として取得することが求められる。

医療機関への受診勧奨(様式 P1:トレーシングレポート)後、院内薬剤師の支援を受けて、薬薬連携の仕組みを利用して、保険薬局および保健所に情報を提供する(様式 P3)方法を構築する。支援頂く院内薬剤師の方についても、CKD 登録薬剤師としての登録を進める必要性を検討する。

## 4. 健診機関からのご報告

### ヘルスサポートセンター鹿児島

ヘルスサポートセンター鹿児島  
令和5年度のご報告

令和5年度の受診者は、123,026名でした。昨年度より501名増加していました。企業健診が多いので、雇用延長した従業員の高齢者が増加しています。その影響もあり、eGFR 60ml/min/1.73m<sup>2</sup>未満のかたは、全体の8.5%で前年度より増加しています。年齢別にみますと、例年通り50歳台より腎機能低下者が急増していますが、50歳以上では、各年代とも昨年度より増加してきています。少なくとも40歳代までに何らかの予防活動を行う必要もありそうです。男女別にみますと例年通り、どの年代も男性の方が低下者が多くなっています。

		30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
男性	受診者数(A)	9,612	13,745	16,654	15,429	11,957	3,185	70,582
	eGFR60未満者数(B)	13	125	698	1,901	2,640	1,129	6,506
	割合(%) (B)/(A)	0.1	0.9	4.2	12.3	22.1	35.4	9.2
女性	受診者数(A)	7,912	9,015	11,807	11,475	9,285	2,950	52,444
	eGFR60未満者数(B)	9	61	351	1,034	1,629	910	3,994
	割合(%) (B)/(A)	0.1	0.7	3.0	9.0	17.5	30.8	7.6
総計	受診者数(A)	17,524	22,760	28,461	26,904	21,242	6,135	12,3026
	eGFR60未満者数(B)	22	186	1,049	2,935	4,269	2,039	10,500
	割合(%) (B)/(A)	0.1	0.8	3.7	10.9	20.1	33.2	8.5

表 令和5年度 腎機能低下の割合

腎機能低下者がどの程度、医療機関に通院しているのか判明していませんが、自覚症状のないうちに、自らの腎機能低下に気づいて、生活習慣を見直したり、主治医に報告して改善についてのアドバイスを頂くように保健指導が必要です。

今後も産業保健や特定保健指導などの健診の事後措置の枠組みの中で、CKDについての啓発運動を進めていく予定です。

今後も産業保健や特定保健指導などの健診の事後措置の枠組みの中で、CKDについての啓発運動を進めていく予定です。

## 県民総合保健センター

### ●令和5年度の取り組み

巡回型健診及び人間ドック受診者で CKD 診断検査を行った男性 23,522 人、女性 21,100 人を年齢階級別にみました。

eGFR60ml/分/1.73 m<sup>2</sup>未満の割合と尿蛋白(+)・尿蛋白2(+)以上の割合は、男女ともに年齢が上がるにつれ、また、男性は女性より高率となっています。男女合計で見ると eGFR60ml/分/1.73 m<sup>2</sup>未満の方が 50 歳代では 16.7%、70 歳以上では 42.1%と腎機能低下を認める現状にあります。この eGFR60ml/分/1.73 m<sup>2</sup>未満の割合のここ数年の推移みると上昇傾向がみられることから、健診と共により一層の CKD 予防の必要性が示唆されます。

### ●次年度に向けて

CKD 受診者数は増加傾向にあり、保険者別にみても同様の傾向が確認できます。このため、引き続き健診の必要性及び CKD 診断検査の重要性を広く周知することが重要です。また、これまでの結果を踏まえ、特定保健指導や糖尿病重症化予防を目的とした保健指導を通じて CKD 予防策を強化する計画としています。

eGFR60 未満及び尿蛋白(+)2(+)以上の対象者

性別	項目	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男性	CKD受診者数	2,273	3,848	4,699	4,107	4,016	4,579	23,522
	eGFR60未満者数	11	69	322	762	1,159	2,056	4,379
	割合(%)	0.5	1.8	6.9	18.6	28.9	44.9	18.6
	尿蛋白(+)以上	25	41	59	87	148	232	592
	割合(%)	1.1	1.1	1.3	2.1	3.7	5.1	2.5
	尿蛋白2(+)以上	7	9	19	34	48	111	228
	割合(%)	0.3	0.2	0.4	0.8	1.2	2.4	1.0
女性	CKD受診者数	2,354	2,829	3,837	3,763	3,717	4,600	21,100
	eGFR60未満者数	6	25	162	551	854	1,805	3,403
	割合(%)	0.3	0.9	4.2	14.6	23.0	39.2	16.1
	尿蛋白(+)以上	79	47	65	44	38	99	372
	割合(%)	3.4	1.7	1.7	1.2	1.0	2.2	1.8
	尿蛋白2(+)以上	15	14	15	12	15	41	112
	割合(%)	0.6	0.5	0.4	0.3	0.4	0.9	0.5
合計	CKD受診者数	4,627	6,677	8,536	7,870	7,733	9,179	44,622
	eGFR60未満者数	17	94	484	1,313	2,013	3,861	7,782
	割合(%)	0.4	1.4	5.7	16.7	26.0	42.1	17.4
	尿蛋白(+)以上	104	88	124	131	186	331	964
	割合(%)	2.2	1.3	1.5	1.7	2.4	3.6	2.2
	尿蛋白2(+)以上	22	23	34	46	63	152	340
	割合(%)	0.5	0.3	0.4	0.6	0.8	1.7	0.8

CKD 受診者数:eGFRと尿潜血検査の両方に受診がある

## 鹿児島厚生連病院 健康管理センター

### ●令和5年度の取り組み

令和5年度に当施設で行った施設内健診および巡回健診の受診者のうち、CKD 検査を行った鹿児島市の受診者数は 26,657 人でした。このうち、腎機能低下 (eGFR 60ml/min/1.73m<sup>2</sup> 未満) の方は、男性 2,958 人 (19.1%)、女性 1,651 人 (14.8%)、合計 4,609 人 (17.3%) で、年々増加傾向です。また、尿蛋白 (+) 以上の方は、合計 537 人 (2.0%)、尿蛋白 (2+) 以上の方は、合計 155 人 (0.6%) でした。

腎機能低下 (eGFR 60ml/min/1.73m<sup>2</sup> 未満) の方の年齢別割合を見ますと、40 歳未満においては男女ともに 2.0% 以下でしたが、40 歳を越えると急に増加し、さらに年齢が上がるにつれてさらに増加していました。特に 70 歳以上の男性では、腎機能低下の方の割合が 49.8% と、約半数に上りました。

### ●次年度に向けて

CKD の原因として、高血圧症と糖尿病は重要な疾患です。次年度におきましても、特定健診の機会を利用して、CKD の理解を深める努力はもちろんのこと、高血圧症と糖尿病の重症化を予防するため、栄養指導・運動指導・自己血圧測定を推し進めてまいります。

性別	項目	30 歳未満	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70 歳以上	計
男性	CKD 受診者数	1510	2478	3633	3628	2733	1518	15500
	eGFR60 未満者数	6	48	329	783	978	814	2958
	割合 (%)	0.4%	1.9%	9.1%	21.6%	35.8%	53.6%	19.1%
	尿蛋白 (+) 以上	44	47	62	82	64	73	372
	割合 (%)	2.9%	1.9%	1.7%	2.3%	2.3%	4.8%	2.4%
	尿蛋白 (2+) 以上	11	7	20	30	17	25	110
	割合 (%)	0.7%	0.3%	0.6%	0.8%	0.6%	1.6%	0.7%
女性	CKD 受診者数	1325	1794	2549	2468	1722	1299	11157
	eGFR60 未満者数	0	21	156	401	485	588	1651
	割合 (%)	0.0%	1.2%	6.1%	16.2%	28.2%	45.3%	14.8%
	尿蛋白 (+) 以上	27	25	40	26	15	32	165
	割合 (%)	2.0%	1.4%	1.6%	1.1%	0.9%	2.5%	1.5%
	尿蛋白 (2+) 以上	4	9	12	5	5	10	45
	割合 (%)	0.3%	0.5%	0.5%	0.2%	0.3%	0.8%	0.4%
合計	CKD 受診者数	2835	4272	6182	6096	4455	2817	26657
	eGFR60 未満者数	6	69	485	1184	1463	1402	4609
	割合 (%)	0.2%	1.6%	7.8%	19.4%	32.8%	49.8%	17.3%
	尿蛋白 (+) 以上	71	72	102	108	79	105	537
	割合 (%)	2.5%	1.7%	1.6%	1.8%	1.8%	3.7%	2.0%
	尿蛋白 (2+) 以上	15	16	32	35	22	35	155
	割合 (%)	0.5%	0.4%	0.5%	0.6%	0.5%	1.2%	0.6%



